

調査活動

再犯防止施策

11月8日(水)、議員保護司の一員として(平成28年2月から保護司をしております)、**東京保護観察所長から「再犯防止推進法関係の動き」について、説明**をいただきました。

平成28年12月、国において「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、地方自治体には「地方再犯防止推進計画を定めること」及び「地域の状況に応じ、再犯防止施策を講ずること」が努力義務とされました。

当日は、法律制定に至る経緯や国の再犯防止推進計画(案)の概要、杉並区に対する要望等をお伺いしました。



私自身は、単に杉並区の計画を定めることよりも、国の再犯防止推進計画(平成29年12月に閣議決定)に基づき、**実際に杉並区として行うべき施策を積み重ねていくことが大切**だと考えております。保護司をしながら区政に携わるひとりとして、身近な自治体である杉並区がどのような取り組みをしていくべきか、引き続き考えていきたいと思ひます。

学校栄養士

12月、**杉並区立小学校にて栄養士をしておられる方に、直接お話をお聞きしました。**

学校栄養士の方の主な仕事やタイムスケジュールをお聞きするとともに、栄養士からみた「杉並区の学校給食の良い点 及び課題と思われること」について、色々と教えていただきました。

また、アレルギー対応の実際の状況や、新たな給食メニューの開発についても、お話を伺いました。



私自身、小学校PTAとなって9年目となりますが、学校栄養士の方とじっくりお話する機会は、これまでありませんでした。

各学校に一人しかいない専門職としての苦労や、子供達のための日々の取組み等、食を通じて子供達のことを考えておられる方のお話は、区政に携わる者として、非常に参考になりました。今後、**子供達にとって給食や調理実習がより良い、より楽しい時間となるよう、議会でも提案していきたい**と思ひます。

次回の定例区議会(平成30年第1回定例会)は、2月9日(金)開会予定です。

区政に関する意見交換会開催 (入場無料)

- 第73回 2月17日(土) 13:30~15:00
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第九集会室
- 第74回 2月21日(水) 19:00~20:30
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室

意見交換会の内容

□ 平成30年度 杉並区予算(案) について

平成30年第1回定例区議会(2月~3月)は、平成30年度杉並区予算(案)の審議が中心になります。予算委員会の前に、平成30年度杉並区予算(案)についてご説明し、皆様のご意見をお伺いしたいと思ひしております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ぜひご参加ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第57号(平成30年新年号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

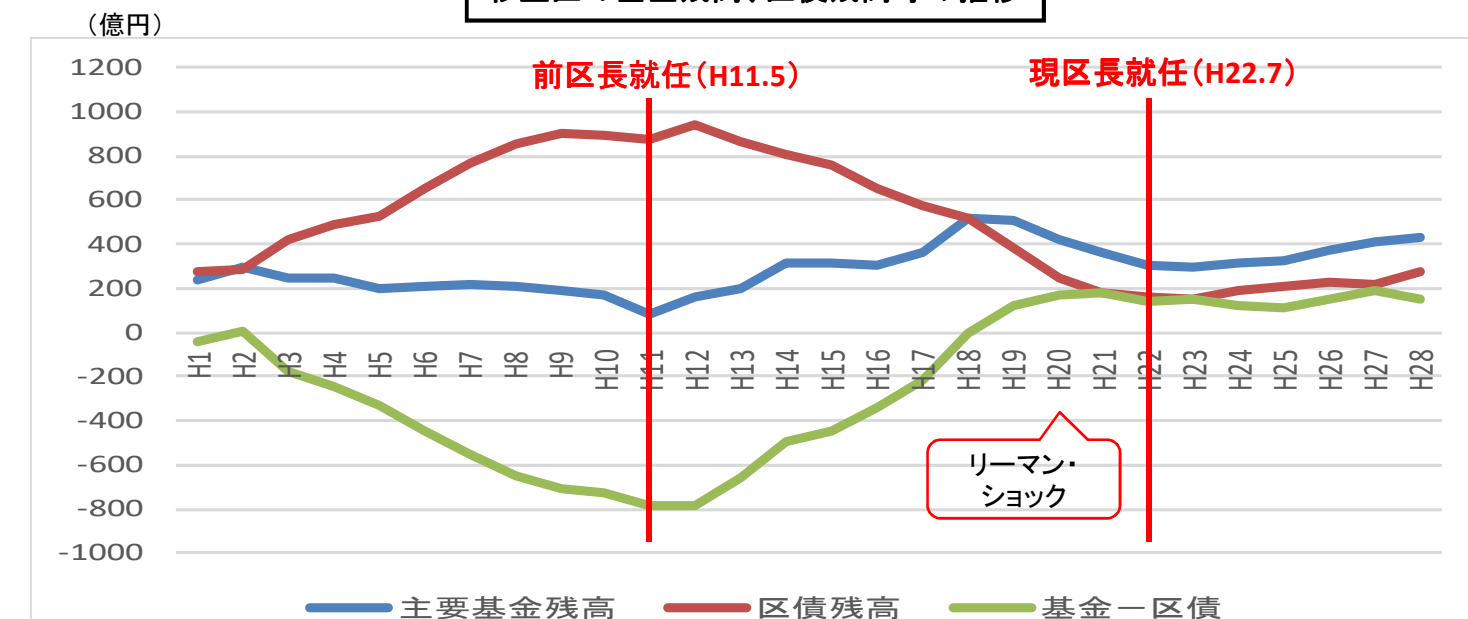
岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(14歳)、長女(12歳)、次男(10歳)。

長期的視点で杉並区の財政を考える ～ 平成時代の貯金と借金の推移 ～

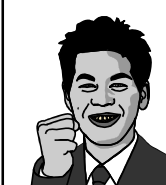
新年を迎え、平成も30年目に入りました。

この機会に、平成の30年間の財政の状況(主要基金(貯金)残高、区債(借金)残高、及び両者の差額)を振り返ってみたいと思ひます。

杉並区の基金残高、区債残高等の推移



	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
主要基金残高	236	291	249	247	200	207	215	213	192	168	87	158	203	312	313	304	367	516	504	418	359	308	300	314	323	377	410	428
区債残高	276	283	422	489	531	654	765	859	899	896	872	942	865	810	756	648	579	518	384	246	179	165	152	190	208	231	220	280
基金－区債	-40	8	-173	-242	-331	-447	-550	-646	-707	-728	-785	-784	-662	-498	-443	-344	-212	-2	120	172	180	143	148	124	115	146	190	148



大きな流れで見れば、

- 平成10年まで・・・バブル崩壊後、区債(借金)が拡大していった時期
- 平成10年代(前区長時代)・・・大きく悪化していた**財政を、健全化**していった時期
- 平成20年代(現区長時代)・・・財政悪化こそしていないものの、現状維持の時期

と言えようと思ひます。

しかしながら、次ページの表のとおり、これまでの杉並区の年齢別人口比率を日本全体と比較してみれば、

➢ 20歳代~50歳代前半は、人口が多く、未成年及び50歳代後半以降は、人口が少ない

という、**財政面でみれば非常に恵まれた環境**にありました。(以下、次ページに続きます)

長期的視点で杉並区の財政を考える(前ページの続き)

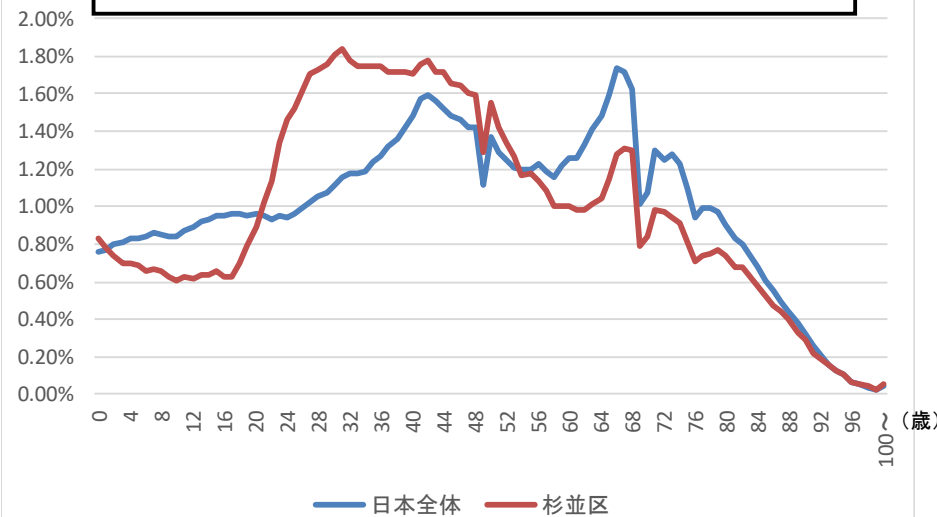


今後、年齢別人口構成比が日本全体の状況に近づいていくこと(『杉並区人口ビジョン(平成27年9月)』では、2015年現在21.0%である65歳以上人口比率は、2060年に25.5%~38.2%になると推計しております)、また、区政報告第53号で取り上げた通り、今後は毎年2校ずつ学校改築が必要(学校改築費は、概ね1校あたり30~40億円)であることを考えると、

平成20年代は、「財政悪化していないから良い」のではなく、「将来に備えて財政面でも準備しておかねばならない時期」であった

と考えます(そうした視点から、例えば平成29年度当初予算や平成28年度決算等に反対しております)。次なる10年、どのような区政経営が杉並区において必要であるのか、皆様と一緒に考えていくことが出来ればと思っております。

日本と杉並区の年齢別人口構成比(2015年10月現在)



議会活動

都市環境委員会

10月19日(木)~20日(金)、都市環境委員会として、「環境モデル都市」に選定されている大阪府堺市、奈良県生駒市を視察しました(堺市では、他に「自転車のまちづくり」についても視察)。どちらの自治体においても、「環境・エネルギーを切り口に、住民参加でまちづくりに取り組む」という視点を重視していることが伺えました。



いかにまちづくり・地域づくりの視点で個々の施策を捉えるか。常にこうした視点を忘れないよう留意しながら、今年も区政に取り組んでいきたいと思います。

災害対策委員会

10月28日(土)、下高井戸おおぞら公園で実施された「平成29年度杉並区総合震災訓練」を災害対策特別委員会として視察しました。当日は、子供向け防災体験ブースや各関係機関の広報・展示ブースを見学した後、マンホールトイレの状況を見学。その後、消防・警察・関係機関等が連携して行う合同訓練を見学しました。また、11月23日(祝・木)には、個人として近隣小学校で実施された震災救援所訓練に参加しました。



定期的に震災訓練に参加することで、いざという時の知識を定着・更新することができます。皆様の地域でも各震災救援所(区立小中学校等)にて毎年訓練が行われておりますので、是非ご参加いただければと思います。



地域での活動

小学校 放課後子ども教室

区政報告第55号で取り上げたとおり、今年度(平成29年度)から、**近隣の小学校において、「放課後子ども教室」(*)を立ち上げ、現在継続して活動**しております。

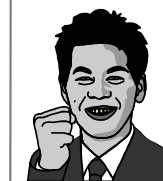
(*)放課後に区立小学校を使って実施する、地域の子供達を対象とした、様々な体験や交流活動等を行う事業。実行委員会が学校長と調整のうえ活動計画をたて、**教育委員会と共催**で実施。平成28年度現在、杉並区立小学校41校中、15校で実施。

プログラミング教室

11月には3~6年生を対象に、12月には1~2年生を対象に、**私が講師となって「初めてのプログラミング教室」を実施**しました(*2)。

教材は、プログラミング教育を推進しているものを活用。子供達への指導にPTAや地域の方にお手伝いいただいた他、12月に実施した際には、NPOを通じて、民間企業からも4名の方が社会貢献活動の一環としてお手伝いに来てくれました。

(*2)平成28年3月に、NPO主催の「指導者研修講座」を受講しております。



12月の実施時には定員を超える応募があり、**子供達(及び保護者の方)の、プログラミング教育に対する興味・関心の高さを実感**しました。また、実際に子供達がプログラミングに取り組む現場に関わる中で、年齢に応じて子供達がこういったところで躓きやすいか等も、身をもって知ることができました。

今後も、同様の内容を実施するだけでなく、他の教材を使用して実施する等、子供達が多様な経験をし、また、興味を持った子供が継続して取り組むことができるように、私自身も学んでいきたいと思います。

担当者研修会

10月14日(土)、区役所にて開催された「放課後子ども教室・土曜日学校担当者研修会」に参加しました。当日のテーマは「子どもたちの声に耳を傾ける」。いわゆる**“傾聴”について、グループワークも交えながら学びました。**



現在、私が関わる放課後子ども教室には、150名超の子供達が登録しております。当然のことながら、一人ひとりに個性があり、それぞれの子供との対応は日々難しさも感じておりますが、少しでも子供達が「今日も参加して良かった」と感じてくれるよう、私自身も様々な学びをし、**杉並区の子育て環境の向上に役立てていきたい**と思います。

スペシャルオリンピックス

平成18年から、スペシャルオリンピックス(*1)日本・東京が実施しているバレーボール・プログラム(会場:杉並区立中学校)に、コーチとして参加しております。

10月28日(土)には、**コーチ資格更新のためのコーチクリニック**を、また、11月25日(土)には、**認定コーチ研修会を受講**しました。

(*1)知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織



認定コーチ研修会では、相手に応じたコミュニケーションの必要性や、アスリート(活動に参加する知的障害のある人)の「失敗する権利」について、認識を深めました。

11月の練習では大学女子バレー部の皆さん(約20名)が、12月の練習では高校生2名がボランティアとして参加してくれましたが、**今後も障害の有無にかかわらず、ともに活動でき、多くの人が参加しやすい機会を杉並区でつくっていききたい**と思います。

